

1987 (毎月1回) (発行)

10月号

(村の面積)

332.60km<sup>2</sup>

発行所 福井県大野郡和泉村

# 広報 いずみ

(昭和62年10月1日現在)

村の人口

総人口	1,005人
男	505人
女	500人
出生	1人
死亡	0人
転入	1人
転出	11人
世帯数	324世帯



(写真は4基の警告灯が設置された魔のカーブ)

今年には特に交通死亡事故が多発しており、福井県知事は異例の「交通死亡事故多発非常事態宣言」を発令しました。

和泉村でも昨年同期の2人を上回る5人の死亡事故が発生しており、秋の行楽シーズン突入とともに、事故の未然防止が急務となっています。

みんなで越美北線を利用しよう

九月十五日の敬老の日、六十五歳以上のお年寄り多数を招いて、村婦人会主催（宮原初子会長）の「敬老会」が社会教育福祉総合センターで開催されました。

式典では、八十歳以上の方々（三十五名）に、村から記

**無受診者を表彰**

昨年三月から今年二月診療分までの一年間に一度もお医者さんに行かなくて、健康

念品が贈られ、村長や議長から「永年の経験を生かし、村づくりに参画してください」とお祝いの言葉がありました。このあと、昼食をとりながら婦人会などによる歌や踊りが披露されました。

- ◎高崎 ちま(伊月)
- ◎三嶋 はつ(後野)
- ◎長嶋 惣松(後野)
- ◎平野 善子(川合)
- ◎久津見 千代子(朝日)
- ◎奥村 ふじゑ(板倉)
- ◎山口 仙太郎(下山)
- ◎村下 操(下山)
- ◎嶋下 義雄(下山)
- ◎下嶋 甚作(上大納)
- ◎山内 幸長(上大納)
- ◎高田 せい(上大納)



**婦人会 アトラクション**

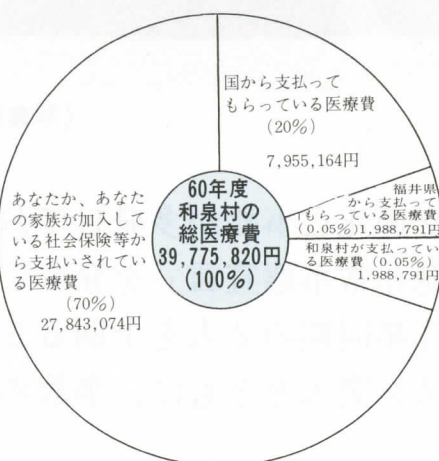


- 和泉村が1年間に支払った医療費……………49,760,420円
- 老人医療受給者年間平均人員…110人

- 和泉村の1人当り医療費……………452,367円
- 福井県の1人当り医療費……………461,261円

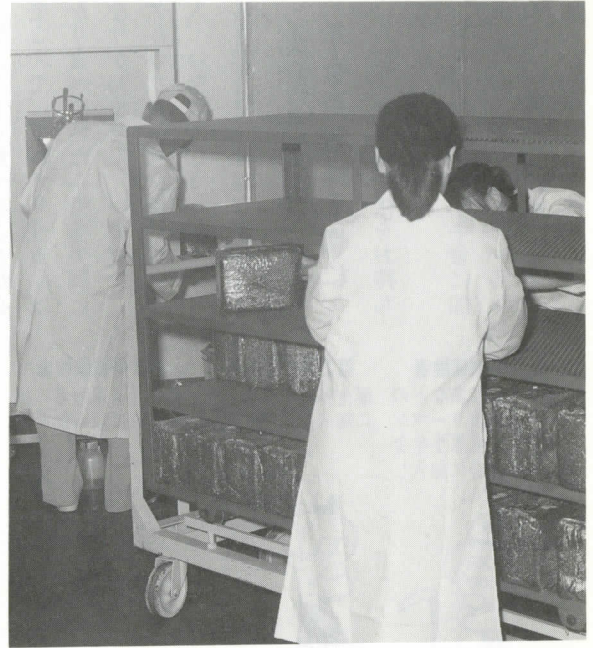


前年度に対して25%の医療費が伸びています。



老人の医療費が、どのような形で支払いされているか、図にあらわしてみました。

**昭和61年度 老人医療費の状況について**



▲写真は無菌室での接種作業

### 朝日の吉川基さん マイタケの人工栽培に着手

昔からきのこの王様といわれ、菌ごたえ・香り・味ともすぐれているマイタケを人工栽培により、一年を通じて栽培出荷しようと、朝日の吉川基さん（六七歳）が同地区に加工場を建設し、三日から操業を始めました。同工場にはコンピューター装置のついた育苗室や培養室など先端技術が導入されています。

ここで育ったマイタケは、「昇龍舞茸」と名づけられ、スパーなどを中心に、一日一五四トンの出荷が見込まれています。

吉川さんは「中竜鉱山採掘中止に伴ない、離村を余儀なくされている同鉱山退職者と一緒にでも多く雇用したい」と語っており、現在の従業員六名に加え、新たな雇用の場と地域に見合った特産品づくりに期待がよせられています。

### キノコ研究会を開催 半数以上が食用に

村内で自生するキノコを食用キノコと毒キノコに区別するキノコ研究会が四日、中央公民館で開催されました。

研究会には「村づくり会議」（吉川秀夫会長）のメンバーなど三十人が参加、講師に県林務課の笠原技師を招き、事前に採集した百種類近くのキノコについて、その特徴など

一点一点説明を受けました。その結果、半数以上が食べられるキノコとわかり、同会議では、食用に利用できるものの活用法、料理法の研究、都会の人を招いてのキノコ大会の開催など、キノコを素材とした村づくりが検討されました。



### 新農業委員を紹介します

任期満了に伴う農業委員会委員選挙が九月八日に告示されました。

れ、次の方が無投票当選されました。

なお、農地にかかる所有権の移動、農地転用等については、農業委員会の許可が必要ですから、手続きをされる方は、農業委員又は農業委員会におたずね下さい。

氏名	性別	年齢	住所
吹屋 与一	男	(67歳)	貝皿
洞口 賢明	男	(52歳)	朝日
松田 衛	男	(60歳)	下大納
高崎 弘	男	(62歳)	伊月
佐藤 博成	男	(57歳)	板倉
猿谷 秋雄	男	(72歳)	角野煎取
谷 一磨	男	(60歳)	下山
古嶋 哲夫	男	(60歳)	後野
平野 勇	男	(62歳)	川合
谷口 政幸	男	(48歳)	上大納
◎議会推薦			
村上 一得	男	(62歳)	下山
◎農協推薦			
山田 健二	男	(73歳)	角野

### 村づくり講演会

和泉村を日本一の村にしよう！  
日本テレビの「顔」としておなじみのキャスターが語る。  
これからどうなる、世界のなかの日本、そして山村その活路は？  
講師 福富達氏  
日時 12月4日(金) PM 6:30～  
場所 中央公民館 講堂  
主催 和泉村・和泉村教育委員会

### あなたへのメッセージ アルカリ食信仰は危険

国保だより

一時、「アルカリ性食品ブーム」というのがありました。血液をアルカリ性にするると健康にいいというので、ばか高いアルカリ性飲料や、アルカリ酒が売れたりしました。しかし、これは医学的に立証されたことではなく、一種の信仰というかブームだったので

肉・米・卵・魚などは酸性食品、野菜・果物・豆腐などがアルカリ性食品。これらをバランスよく食べることが必要なので、アルカリ性食品ばかり食べていたら栄養失調になりかねません。いまだに、アルカリ食信仰を持っている人、いないでしょうネ。

### 国民年金のまど 年金手帳は大切に

あなたは年金手帳をお持ちですか。

年金手帳は、国民年金に加入している証明としているもので、国民年金の記号番号や加入した年月日、被保険者の

氏名・生年月日などが記入されています。

また、年金手帳は一度交付を受けると、職業が変わり加入する年金制度が異なっても最初に交付された年金手帳を使用することになります。

将来年金を請求するときに必要なものですので、大切に保管してください。

### 国民年金の加入者

国内に住んでいる二〇歳以上六〇歳未満の人は、学生など一部の人を除いてすべての人が国民年金に加入しなければなりません。加入者の種類は、次の三つに区分されます。

**第3号被保険者** 扶養  
第2号被保険者に  
第2号被保険者  
養



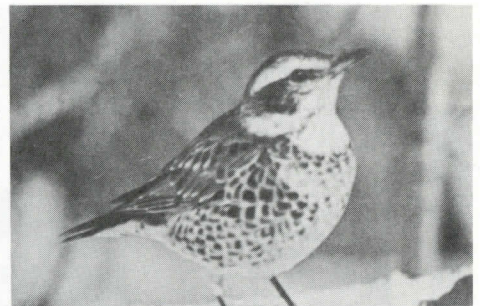
**第2号被保険者**  
厚生年金や共済組合  
に加入している人。



**第1号被保険者**  
農業、自営業などの  
人、サラリーマン  
であっても厚生年金  
や共済組合に加入  
していない人。



### カスミ網による野鳥の 「密猟」を追放しましょう



野鳥の美しい姿や鳴き声は私たちの心をなごませてくれるとともに、うるおいと安らぎを与えてくれます。

また、野鳥は、豊かな自然を構成する一員であるとともに、害虫を食べる公益的な役割

割を果たしています。

ところが、この野鳥を「カスミ網」などで違法に捕獲することが、いまだに行われています。

お互いにこの豊かな自然を守るため、「カスミ網」による密猟を皆で追放しましょう。

### 県だより

昭和六十二年は、「西暦二〇〇〇年までの長期的展望に立って、住まいや生活環境の問題に対する関心を高め、その解決に向けての努力や国際協力を促す」ことを主な目的とする国際居住年です。このため、今後の住宅のあり方について考え、住宅需要の拡大と良質住宅の普及を目的として次の日程でシンポジウムが開催されます。

### 人のうごき(敬称略) 九月届出分

#### ▲あかちゃん

名前 保護者 続柄 住所  
泉 麻里子 正和 長女 朝日



麻里子ちゃん

☆テーマ 「21世紀の住まいを考える」

☆日 時 11月14日(土)午後1時30分～4時30分

☆会場 福井県産業会館

☆行事内容

◎基調講演 「21世紀の住まいづくりをめざして」

◎パネルディスカッション

### 君 さわやか 西村 泉

